

# 株 主 通 信

第8期 2006年9月1日から2007年8月31日まで

# グループのシナジーを原動力に、 新たな成長段階へ。



## ■ サムシング・グループの基本方針

サムシング・グループは設立以来、「マーケットイン」・「ニッチ」・「グロス」という3つのキーワードを念頭に置いて、経営戦略を立案しています。

企業側の論理で「良いモノ・サービス」を提供するプロダクトアウトの考え方ではなく、「顧客の望むモノ・サービス」を提供する「マーケットイン」の視点でお客様と取り引きしています。そして、市場（＝お客様）ありきの考えで、店舗展開、商品開発を行っています。

市場の選択にあたっては、「ニッチ」という要素を重視しています。それはサムシング・グループが、大手企業と同じ土俵に立って競争をするには、現状の体力では不十分であるという現実を認識しているからです。そこで、大手企業とのむやみな競争を避け、収益の確保を見込める市場に経営資源を集中していきます。

市場の選択条件としては、成熟市場ではなく、規模は必ずしも大きくなくとも新興の成長市場を志向しています。

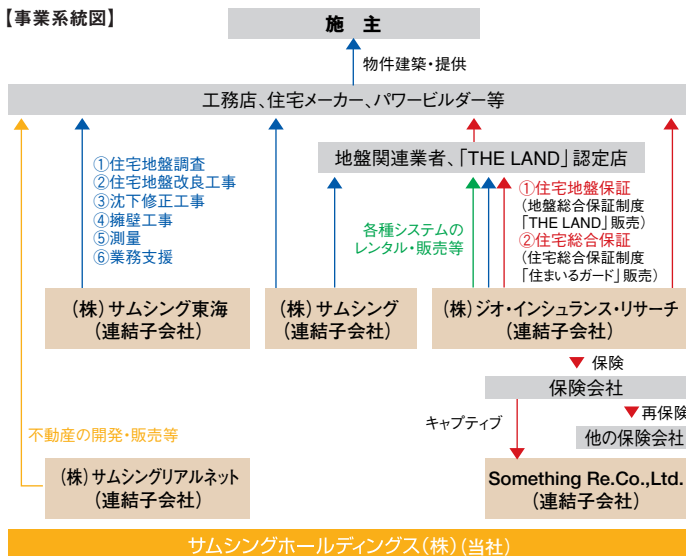
## ■ 事業系統及びセグメント

当社は、純粋持株会社であり、グループ各社の経営指導、グループ全体の事業統括及び新規事業開発等を行っています。また、グループ各社から、総務、人事、経理及び経営企画等の管理業務も受託しております。

事業の種類別セグメントは、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	主な事業の内容	主な会社名
地盤改良事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅地盤調査</li> <li>●住宅地盤改良工事</li> <li>●沈下修正工事</li> <li>●擁壁工事</li> <li>●測量</li> <li>●地盤関連業者に対する業務支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)サムシング</li> <li>●(株)サムシング東海</li> <li>●(株)ジオ・インシュランス・リサーチ</li> </ul>
保証事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅地盤保証</li> <li>●住宅総合保証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ジオ・インシュランス・リサーチ</li> <li>●Something Re. Co., Ltd.</li> </ul>
不動産事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●不動産の開発・販売等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)サムシングリアルネット</li> </ul>
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種システムのレンタル・販売等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)ジオ・インシュランス・リサーチ</li> </ul>

【事業系統図】



- グループ各社の経営指導、グループ全体の事業統括及び新規事業開発
- グループ会社からの総務、人事、経理及び経営企画等の管理業務受託

## 高品質な地盤の提供と、新しい価値の創造に積極的に取り組みます。

当社は「新しい価値を創造し、心のこもったサービスを通じて、社会に貢献する企業を目指す」という経営理念のもと、地盤の調査を行い、強度に問題がある地盤を補強し、地盤に新しい手法で保証を付けることにより、皆様に安心を提供し、成長してまいりました。また、安心できる宅地を提供する試みも開始しております。

建物にとっては、非常に重要な要素である地盤に対するニーズは今後もさらに高まっていくものと確信しております。

また、耐震構造問題を発端に住宅の品質に関わるニーズはより一層高まっており、その中でも目に見えない地盤の品質に関する需要は大きなものであります。その環境下、当社は、これまで築き上げた地盤に関するデータベースを中心に、ITインフラを活用した新しいサービスを提供し、住宅地盤の品質、透明性、生産性向上に貢献していきたいと考えております。

その具体的試みとして、地盤においては、小型商業施設及び、賃貸用低層住宅に対する地盤調査・補強工事の受注を強化しております。

住宅地盤に関しては、透明性のある調査方法の確立及びITインフラのレンタル等による新しい価値の創造に積極的に取り組み、事業成長・企業価値の向上に努めていく所存でございます。



サムシングホールディングス株式会社 代表取締役社長

前 俊守

## グループ事業概要

# 住宅分野で培った技術・ノウハウをベースに、 グループのシナジーを極大化。 さらなる成長ステージへと飛躍していきます。

サムシング・グループは、株式会社サムシングをコアに、次々と新しいサービスを提供してきました。住宅分野に特化して、地盤の調査を行い、強度に問題がある地盤を改良してきた「株式会社サムシング」・「株式会社サムシング東海」。そして株式会社サムシングが調査・改良工事を通して蓄積してきた地盤に関わる情報をデータベース化し、電子報告書としてアウトプットするシステムを開発する一方

で、株式会社サムシング、株式会社サムシング東海が施工した改良工事を第三者的な立場から審査し、保証するサービスを提供する「株式会社ジオ・インシュランス・リサーチ (GIR)」。さらに不動産の開発・販売等を行う「株式会社サムシングリアルネット」。今後もさらなる成長を目指し、新しいサービスを生み出し続けます。

### ■ サムシング・グループのワンストップサービス

#### 1 測量・地盤調査

地盤の強度 (N値と呼ばれる値) を調査し、そのままの地盤でも建物が建設可能か否かを測定します。



#### 2 地盤改良

地盤調査の結果、軟弱地盤と診断された土地に対し、建設する住宅の重みに耐えられるように、基礎下の地盤を補強します。



#### 3 保証

ハウスメーカー様や工務店様向けに、建物引渡しから10年間保証の地盤総合保証制度「THE LAND」、基礎着工から10年間保証の住宅総合保証制度「住まいるガード」を提供しています。



住宅総合保証制度  
「住まいるガード」  
・地盤に起因する  
建物の不具合  
・住宅建築に起因する  
建物の不具合  
を保証

地盤総合保証制度  
「THE LAND」  
地盤に起因する  
建物の不具合  
を保証

## ■ グループフォーメーション

損害保険会社と提携し、住宅向け地盤の保証事業を主に行っており、地盤総合保証制度「THE LAND」及び住宅総合保証制度「住まいるガード」を提供しています。



株式会社  
ジオ・インシュランス・  
リサーチ

中部地区において、住宅向けに特化した地盤改良工事を主たる事業としています。また、地盤改良工事の他、住宅向けの地盤調査、グループ会社施工による沈下修正工事<sup>(注)</sup>の取り扱いも行っています。

株式会社  
サムシングリアル  
ネット

地盤改良工事並びに擁壁工事に関連した不動産の開発・販売等を行います。



サムシングホールディングス  
株式会社

サムシング・グループの純粋持株会社として、事業子会社の経営管理・企画・財務等の機能を持っています。今後は新規事業のインキュベーターとしての役割も担っていきます。

株式会社  
サムシング東海

キャプティブを行っており、「THE LAND」及び「住まいるガード」のビジネスモデルを支えています。

Something Re.  
Co.,Ltd.



株式会社サムシング

サムシング・グループの中核企業であり、住宅向けに特化した地盤改良工事を主たる事業としています。地盤改良工事の他、住宅向けの地盤調査や、不同沈下が発生した家屋の沈下修正工事<sup>(注)</sup>も行っています。

(注) 沈下修正工事は認定工法のため、グループ会社にて施工いたします。

## Topics

### ■ 株式会社不動テトラとの業務提携

株式会社不動テトラが取得している建設技術審査証明工法の内、セメント系固化材を用いた深層混合処理方法「PROP(プロップ)TYPE I」について、株式会社サムシングが施工量に応じて一定の対価を支払います。

### ■ 当社グループ従業員による共同執筆

本年5月に当社グループ従業員3名による共同執筆書「地盤調査入門」を出版いたしました。専門的な内容をマンガと解説でまとめ、各方面からご好評をいただいております。



## 1. 当期の概況

当連結会計年度の業績は、売上高4,660,872千円(前期比35.3%増)となりましたが、外注費や燃料費の高騰により売上原価も大幅に上昇し、営業利益81,133千円(前期比49.7%減)、経常利益63,895千円(前期比54.1%減)、当期純利益47,124千円(前期比57.7%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

### (1) 地盤改良事業

地盤改良事業は、主に地盤改良工事と地盤調査・測量に分かれます。

地盤改良工事におきましては、施工能力の増強を目的として、地盤改良機、大型車両、セメントプラント等に対して積極的に設備投資を行った結果、売上成長を確保することができました。前連結会計年度に設立した株式会社サムシング東海の売上高も順調に伸びております。

地盤調査・測量におきましては、前連結会計年度より受注を開始した郊外型レストラン及びコンビニエンスストア等の小型商業用店舗向け売上が大幅に増加しております。また関東地区における地盤調査及び測量要員の増加も売上高の増加に寄与しております。

新規の拠点としては、地盤改良事業の営業エリア拡大を目的として、平成19年4月に大阪府大阪市において株式会社サムシングの大阪営業所を出店しました。なおこの結果、地盤改良事業の売上高は3,842,640千円(前期比18.7%増)となりました。

### (2) 保証事業

グループ外の販売チャネル認定店数の増加が売上成長に寄与し、地盤総合保証制度「THE LAND」の販売件数が前年度の3,383件から4,194件へと増加しました。また平成19年6月から住宅建築に起因する不具合も保証に加えた住宅総合保証制度「住まいるガード」の販売も開始しております。この結果、保証事業の売上高は208,275千円(前期比28.2%増)となりました。

### (3) 不動産事業

前連結会計年度に設立した株式会社サムシングリアルネットが本格的に稼働し、東京都、神奈川県及び千葉県において比較的小型の案件に特化した不動産の開発・販売を実施しました。この結果、不動産事業の売上高は597,384千円となりました。

### (4) その他の事業

地盤関連業者に対するシステムレンタル等の業務支援受注により売上高は12,571千円(前期比71.4%減)となりました。

なお、当連結会計年度より、前連結会計年度まではその他の事業に含めていた不動産事業を新たな事業区分として独立させております。

## 2. 次期の見通し

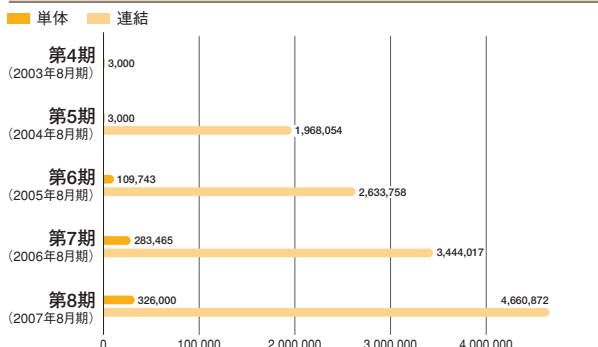
次期の見通しにつきましては、耐震構造問題に端を発する住宅の安全性に対するニーズの高まりを背景に、当社グループがコア事業とする地盤改良工事・地盤調査に対する需要は底堅いと判断しております。しかしながら、戸建住宅に関する保証ビジネスの大幅な状況変化により同業他社との競争は一層の激化が予想されます。

地盤改良事業におきましては、比較的価格競争の穏やかな非住宅部門である小型商業用店舗向けの新規開拓と従来までは構成比の低かったハウスメーカー向けの受注獲得に重点を置いた営業活動を展開していく方針です。また九州地区への進出を行い、全国展開への基盤を固めていく所存です。

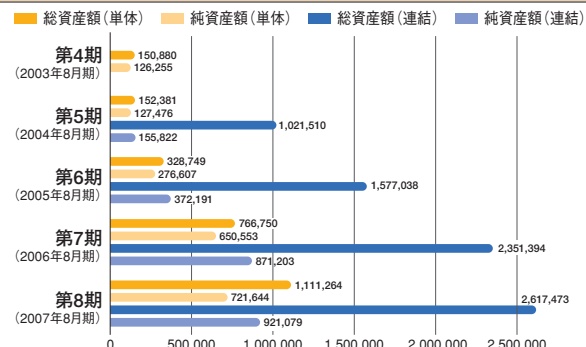
保証事業におきましては、2009年度の「特定住宅瑕疵担保責任保険」の導入という大幅な環境変化に対応するべく他社グループとの戦略的なアライアンスを提携し当社が培ってきた住宅用地盤に関する専門性をビジネスに活かしていく所存です。

不動産事業におきましては、引き続き首都圏において比較的小型の案件を中心に不動産の開発・販売等を実施していく方針です。

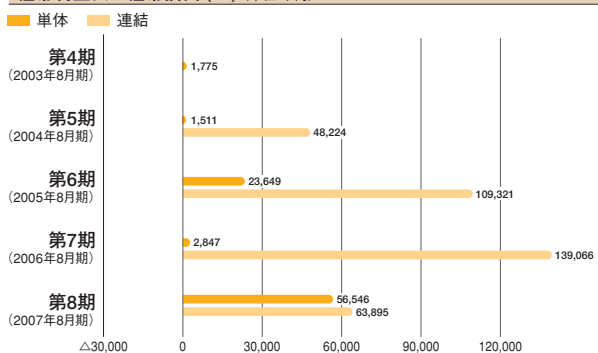
売上高 (単位:千円) (注)売上高には、消費税等は含まれておりません。



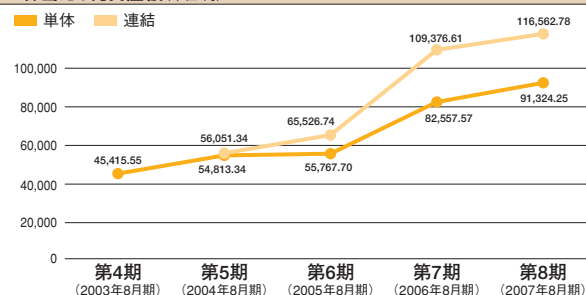
総資産額・純資産額 (単位:千円)



経常利益又は経常損失 (△) (単位:千円)

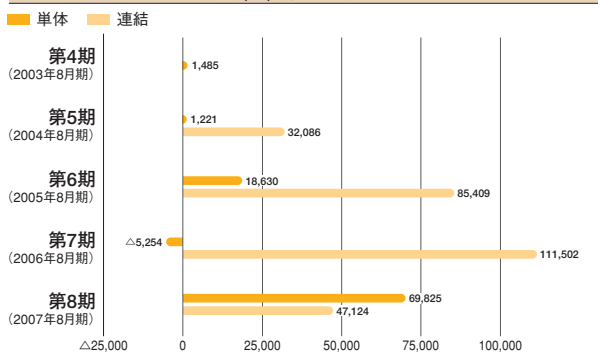


1株当たり純資産額 (単位:円)

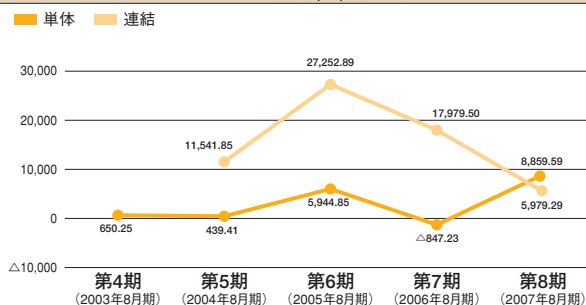


(注)当社は、2006年2月3日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、適及修正を行った場合の数値を表記しております。

当期純利益又は当期純損失 (△) (単位:千円)



1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△) (単位:円)



(注)当社は、2006年2月3日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、適及修正を行った場合の数値を表記しております。

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (2007年8月31日現在)	前期 (2006年8月31日現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	1,946,333	1,819,601
固定資産	671,140	531,793
有形固定資産	474,349	355,661
無形固定資産	50,083	50,033
投資その他の資産	146,707	126,097
資産合計	2,617,473	2,351,394
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	1,036,930	900,218
固定負債	659,464	579,972
負債合計	1,696,394	1,480,191
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	910,277	861,887
資本金	330,432	329,800
資本剰余金	295,004	294,372
利益剰余金	284,840	237,715
評価・換算差額等	1,279	2,049
その他有価証券評価差額金	1,279	2,049
少数株主持分	9,521	7,266
純資産合計	921,079	871,203
負債・純資産合計	2,617,473	2,351,394

### 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (自2006年9月1日 至2007年8月31日)	前期 (自2005年9月1日 至2006年8月31日)
売上高	4,660,872	3,444,017
売上原価	3,468,449	2,367,776
売上総利益	1,192,422	1,076,240
販売費及び一般管理費	1,111,289	914,961
営業利益	81,133	161,279
営業外収益	11,001	22,247
営業外費用	28,238	44,460
経常利益	63,895	139,066
特別利益	4,547	21,795
特別損失	851	3,640
税金等調整前当期純利益	67,591	157,221
法人税、住民税及び事業税	20,327	54,133
法人税等調整額	△ 2,116	△ 8,680
少数株主利益	2,255	266
当期純利益	47,124	111,502

#### 【連結貸借対照表コメント】

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ、266,079千円増加し、2,617,473千円となりました。これは主に現金及び預金が84,470千円増加、有形固定資産が118,687千円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ、216,203千円増加し、1,696,394千円となりました。これは主に長・短期借入金が186,848千円増加したこと及び未払金が34,305千円増加したこと等によるものであります。

純資産合計(少数株主持分を含まない)は、前連結会計年度末と比べ、47,620千円増加し、911,557千円となりました。これは主に、利益剰余金が47,124千円増加したこと等によるものであります。



## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科 目	当 期	前 期
	(自2006年9月1日 至2007年8月31日)	(自2005年9月1日 至2006年8月31日)
1 営業活動によるキャッシュ・フロー	222,159	△ 7,638
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 398,617	△ 271,417
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	188,113	514,287
現金及び現金同等物の増加額	11,655	235,231
現金及び現金同等物の期首残高	641,580	406,349
現金及び現金同等物の期末残高	653,235	641,580

## 【連結キャッシュ・フロー計算書コメント】

- 1 当連結会計年度の営業活動の結果、獲得した資金は、222,159千円(前連結会計年度は7,638千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益67,591千円、減価償却費188,973千円に加えて、たな卸資産が72,391千円減少したこと等によるものであります。
- 2 当連結会計年度の投資活動の結果、使用した資金は、398,617千円(前連結会計年度は271,417千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出286,166千円と定期預金の預入による支出76,415千円等によるものであります。
- 3 当連結会計年度の財務活動の結果、獲得した資金は、188,113千円(前連結会計年度は514,287千円の獲得)となりました。これは主に長期借入れによる収入530,000千円等によるものであります。

## 連結株主資本等変動計算書(要旨)(自2006年9月1日 至2007年8月31日)

(単位:千円)

科 目	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
前期末残高	329,800	294,372	237,715	861,887	2,049	7,266	871,203
連結会計年度中の変動額							
新株の発行	632	632		1,265			1,265
当期純利益			47,124	47,124			47,124
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					△ 769	2,255	1,486
連結会計年度中の変動額合計	632	632	47,124	48,389	△ 769	2,255	49,876
当期末残高	330,432	295,004	284,840	910,277	1,279	9,521	921,079

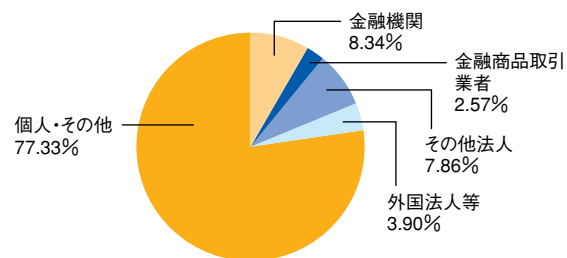
## ●株式の状況(2007年8月31日現在)

発行可能株式総数	30,000株
発行済株式総数	7,902株
株主数	956名

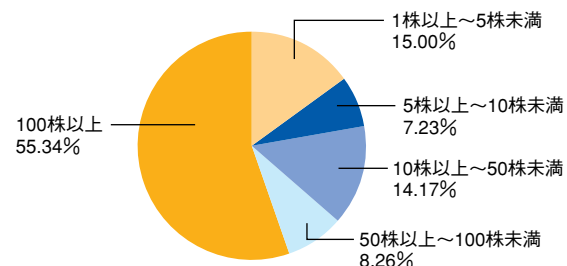
## ●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
前 俊守	2,500	31.64
(株)千葉銀行	300	3.80
サムシングホールディングス社員持株会	296	3.75
大阪証券金融(株)	290	3.67
前 トミ	205	2.59
(株)ゲオエステート	150	1.90
(有)コモリ企画	150	1.90
平野 岳史	140	1.77
野村証券(株)	124	1.57
山川 勇	113	1.43

## ●所有者別株式分布状況



## ●所有株数別株式分布状況



## 株主優待制度のご案内

株主の皆様のご支援にお応えするとともに感謝の意をこめて、新規に株主優待制度を開始させていただきます。

## 適用開始

2007年8月31日の最終の株主名簿または実質株主名簿に記載または記録された株主様より適用させていただきます。

※写真はお米券1kg見本となります。

- (1)対象株主/毎年8月31日の最終の株主名簿または実質株主名簿に記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。
- (2)優待品/ご所有株式数に応じてお米券を下記の基準により贈呈させていただきます。

## 贈呈基準

- ①保有株式数◎1株以上5株未満の株主様に「お米券(全国共通)」2kg相当
- ②保有株式数◎5株以上の株主様に「お米券(全国共通)」5kg相当



- (3)贈呈時期/毎年11月(定時株主総会終了後)を予定しております。(今回は、この株主通信等のご送付書類に同封しております。)

## ●会社概要 (2007年8月31日現在)

商 号 ● サムシングホールディングス株式会社

設立年月日 ● 2000年10月6日

本社所在地 ● 〒104-0033  
東京都中央区新川1-17-24  
ロフター中央ビル6F  
TEL 03-5566-5555 (代表)

資本金 ● 3億3,043万2,500円

従業員数 (連結) ● 242名

役員 ● 代表取締役社長 前 俊守  
(2007年11月29日現在)

取締役 青木 宏

取締役 笠原 篤

取締役<sup>(※)</sup> 佐々木 隆

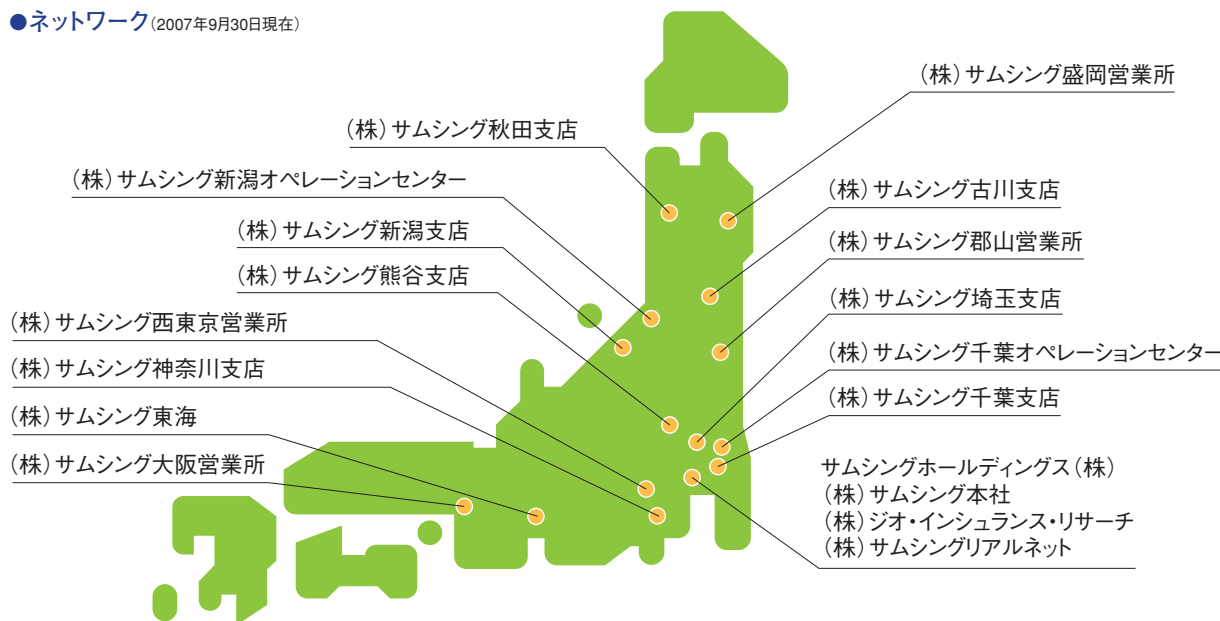
常勤監査役<sup>(※)</sup> 岡田 憲治

監査役<sup>(※)</sup> 佐藤 増生

監査役 荒木 久忠

(※) 社外取締役または社外監査役

## ●ネットワーク (2007年9月30日現在)



## 株主メモ

事業年度 ———— 9月1日から翌年8月31日まで  
株主確定基準日 — 定時株主総会・期末配当金 8月31日  
中間配当金 2月末日  
定時株主総会 — 毎年11月  
株主名簿管理人 — 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 — 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
同連絡先 ———— 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

同取次所 ———— 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
公告方法 ———— 電子公告掲載URL  
<http://www.sthd.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他  
のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞  
に公告いたします。  
証券コード ———— 1408  
上場金融商品取引所 — 大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット  
「ヘラクレス」

**IRサイトのご案内** 事業紹介をはじめ、最新IR情報は当社ホームページにてご確認くださいませ。

・当社ホームページ  
<http://www.sthd.co.jp/index.html>



・IR情報  
<http://www.sthd.co.jp/ir/index.html>



## 株主の皆様のお声を聞かせてください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 1408

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com